

## 令和7年度第1回学校運営協議会議事録

日時 令和7年5月30日

時間 15:45～17:00

(出席者 敬称略)

### 【委員】

(出席者)

- 内川 隆 (本校同窓会長)
- 佐々木 得人 (本校 PTA 会長)
- 鈴木 秀幸 (青葉区市ケ尾町在住、大場町自治会)
- 藤岡 歩 (あおば支援学校長)
- 佐藤 吏里 (横浜市青葉区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長)
- 濱部 剛 (横浜市立市ケ尾中学校長)
- 富澤 桂子 (本校校長)

(欠席者)

- 飯島 正徳 (東京都市大学理工学部自然科学科教授)
- 河原 克宣 (桐蔭横浜大学スポーツ科学部客員教授)
- 田中 俊穂 (北里大学看護学部教授)

### 【事務局】

(出席者)

- 河合 義昭 (本校副校長)
- 岩村 美津子 (同 事務長)
- 酒井 脩生 (同 学校運営協議会担当)
- 小林 聖 (同 学校運営協議会担当)
- 木崎 悟 (同 学校運営協議会担当)

(欠席者)

- 坂本 和啓 (同 教頭)

### 【本校各グループリーダー】

(出席者)

- 好田 寛子 (本校 カリキュラム開発グループリーダー)
- 本屋敷 隆裕 (同 キャリア支援グループリーダー)
- 岡 豊 (同 生徒会支援グループリーダー)
- 佐久間 健三 (同 生徒指導グループリーダー)
- 木村 秀樹 (同 管理運営グループリーダー)
- 中村 洋行 (同 地域連携・広報グループリーダー)

## 1 校長挨拶

## 2 委員紹介

## 3 本校関係職員紹介

## 4 会長挨拶

会長： 鈴木委員

## 5 報告事項《○委員、●学校》

### （１）令和７年度学校運営協議会について

●本年度の委員ならびに校内関係者は先ほど紹介した通りである。部会は学校評価部会と地域協働部会の二つある。本年度の学校運営協議会の日程は資料の通りである。なお、年間で３回開催とする。

### （２）学校からの報告について

●第５２回入学式は４月８日に開催され、前年度同様保護者の参加人数制限をせず、無事に行うことができた。

●遠足については４月１７日に３学年とも開催した。１年生については、横須賀のソレイユの丘に行き、カレー作りやレクレーションをすることで親睦を深めることができた。２年生は東京遠足に行き、現地集合・班別自主行動を行った。３年生は東京ディズニーシーに行き、現地集合・班別行動を行った。

●５月２９日に全学年を対象とした芸術鑑賞会を実施した。古典芸能「市ヶ尾高等学校奇席 東西寄席」の鑑賞を行った。非常にマナーよく、かつ古典芸能を各自が楽しんでいた。

●体育祭（白鷺祭）については、昨年度同様グラウンドにプレハブが建っているため、３年生の生徒の保護者のみに公開する制限を施した上で開催する予定である。

●令和６年度の進路実績については、昨年度とほぼ同様国公立大学への進学者が２０人程度となっている。就職者はいなかった。また、令和６年度の進学実績では、東京都立大学は５名、横浜市立大学は４名など合格した。指定校推薦含めて「MARCH（明治、青山学院、立教、中央、法政）」「日東駒専（日本、東洋、駒沢、専修）」、神奈川大学等の合格者が多い。

●学校広報については、資料記載の通りに行う予定である。6月7日の全公立展は各高校がブースを作り、広報活動を行う。中学校から依頼があり、本校の説明に伺うことや、来校していただくことも行っている。

### (3) 学校目標等について

●4年間の目標は今年度が2年目となる。取組の内容において「総合的な探究の時間」が何度か出てくる。本校は「総合的な探究の時間」に係る研究について引き続き研究指定校となっている（好田総括教諭）。

●学校行事、部活動の活動を通して、自己肯定感と行動力の高い、自主自立した人材を育成している。なお、体育館が使用できなくなるので何ができるか検討中である（岡総括教諭）。

●主体的に自分の将来像を描き出し、社会的役割を果たすための支援をしている。また、欠席が多い生徒に対する指導をしている（佐久間総括教諭）。

●進路選択についてどのようにするかを1年次から自己実現のサポートをしている（本屋敷教諭）。

●学校のボランティア活動などの情報発信をしていく予定である（中村総括教諭）。

●校内人権研修や不祥事防止研修などの研修を通じて、職員の資質や意識の向上を図っている（木村総括教諭）。

### (4) その他 【質疑応答、意見】

○「総合的な探究の時間」についてコマ数や何をしているか、具体的な内容についてどのようなになっているか教えてほしい。

○「総合的な探究の時間」がわかりづらい。何かをやったという実績を残したいが、毎年同じようなことをしているように感じる。

●コマ数は週1回の1コマである。生徒に考えさせる能力を身につけるように指導している。

○中学と高校で連携をしたいと考えている。中学2年生では、修学旅行において、自分たちで課題を決めさせている。

●「課題」を設定することが重要であり、本校でも中学との連携をしたいと考えている。

○地域との連携について考えてほしい。地域のコミュニティ施設も利用するなど検討するとよい。学校と地域をつなぐ施設があるとよいと思う。

○ホームページを活用して交流の場を持つことも検討するとよい。

●地域と連携する時間をとることが難しいところがある。しかし、地域の清掃活動など本

校の生徒が協力できる可能性はある。いろいろな支援の方法は考える余地がある。

## 6 その他

●次回の学校運営協議会の開催は10月18日を予定している。

※学校の校内見学については希望者なし。